

唐古・鍵遺跡史跡公園周辺

史跡公園、道の駅、大和川沿いの公園による、にぎわい・歴史・自然の景観が形成されている地区

整備のコンセプト:

弥生時代へといざなう景観とおもてなし空間の創造

◆植栽景観の現状の課題

- ・“弥生の風景”の再現を目指す史跡公園であるが、一般的な親しみやすさが不足している。
- ・史跡公園のコンシェルジュとして、道の駅の彩りが足りない。
- ・しきのみちはせが展望公園では、開園から年月が経過し、当時の植栽が消失。

課題解決への
主な対応

- ・公園整備コンセプトをふまえ、日本古来の植生を演出。
- ・史跡公園の玄関口として、彩りの植栽と適正な管理。
- ・大和川沿いの彩りを復活させ、立地を活かした水辺の公園の魅力向上。

【今後の連携方案】 県・施設指定管理者・地域との協働による維持管理など、景観向上のための仕組みづくり。

□道の駅レスティ唐古・鍵周辺

短期 地域憩いの場、観光の拠点である道の駅周辺を、植栽等により景観向上を行い、おもてなしの演出を図る。

管理 四季を通じて、彩りある植栽の適正な管理を行い、周辺景観づくりに努める。(指定管理者)



□唐古・鍵遺跡史跡公園

短期 公園内に日陰やベンチなどの休憩場所を増設し、植栽景観を楽しむ環境を整える。

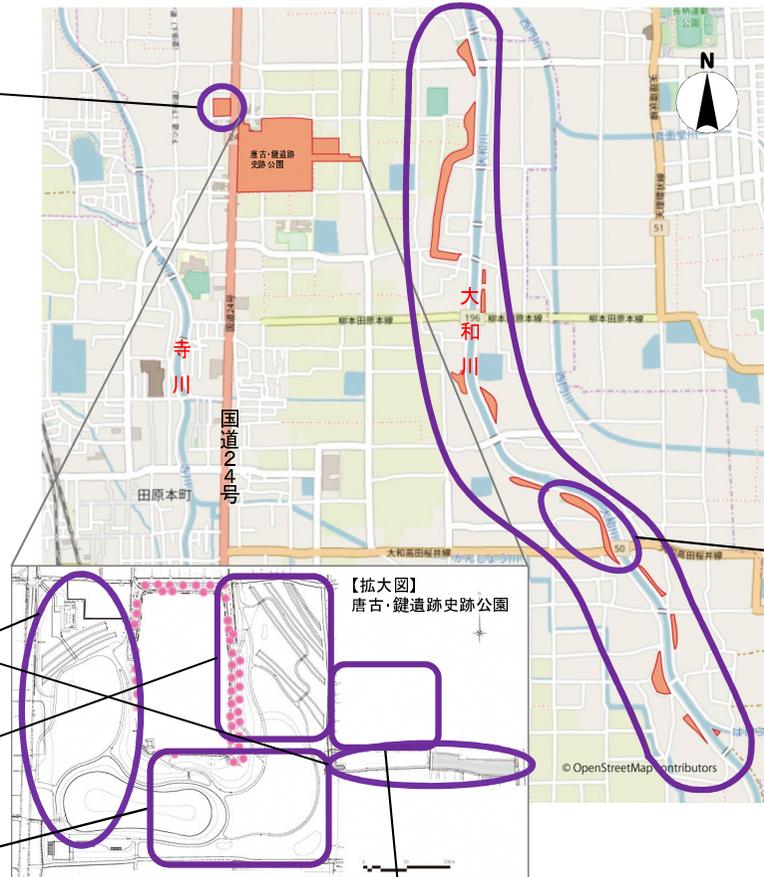
短期 史跡公園の玄関口や国道側の彩りとして、植栽によるおもてなしの空間を創出する。

短期 多重環濠エリアで、地被植物等により環濠を表示し植物による遺跡の演出を図る。

長期 植栽・播種を適宜追加することで、往時の植生の再現を目指すともに、彩りの植栽で公園を演出する。



管理 弥生の景観の再現を目指して、既存の桜並木などおもてなしの植栽景観の維持や、外来種の駆除など状況に応じた管理を行う。(指定管理者)



□唐古・鍵遺跡史跡公園多目的広場北側

長期 唐古・鍵遺跡史跡公園に隣接している場所で、民間企業による田園景観の保全とともに、地元住民に親しまれる良好な眺望景観の創出を図る。

管理 民間企業により、引き続き適正な管理に努めていただく。

◆エリアの特徴的な景観



道の駅～史跡公園から東側を望む(仮)

□しきのみちはせが展望公園

短期 「すいせんの丘」で、町の花であるスイセン等を植栽する。



管理 除草、剪定、清掃により適正に維持管理を行い、景観の魅力の向上を図る。